

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### ・明星大学

明星大学（以下、本学）は、「学位授与の方針（DP）」に掲げた養成する人材像を達成するため、「学力の3要素」を踏まえ、入学前に身につけておくべき能力等を示した「入学者受入れ方針（AP）」を定め、これに基づいて各学部・学科における入学者選抜を実施する。

#### （1）知識・技能

- ・高等学校までの教育の成果として、大学における教養教育及び各学部・学科の専門教育を受けるために必要な基本的な知識・技能を修得している。

#### （2）思考力・判断力・表現力

- ・地域を含めた実社会の課題や問題に対して、幅広く論理的に考える素養を備え、その考えを自身でまとめ、他者に伝えることができる。

#### （3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

- ・実践的な学びに能動的に取り組み、様々な課題や問題に対して、自ら主体的に考え、解決に向けた行動を取るための素養を備えている。

- ・本学での学びを経て自己を確立し、他者と協力して社会に貢献したいという強い意欲を有している。

### ・通学課程（学部）

#### 1. 理工学部

##### （1）物理学系

- ・高等学校までの教育の成果として、大学において物理学を学ぶ際に必要な基本的な知識・技能を修得している。

- ・科学現象に対して、数理的・論理的に考える素養を備え、その考えを自身でまとめ、他者に伝えることができる。

- ・授業における実験・演習に積極的に取り組み、物理学の様々な問題に対して主体的に考え、学ぶ態度を備えている。

- ・本学で物理学を学ぶことによって自己実現し、他者とコミュニケーションしながら人や社会に貢献しようという意欲を持っている。

##### （2）生命科学・化学系

- ・生物科学及び分子化学に関する分野の高度な専門教育を受けるために必要な数学や理科、特に生物や化学の基礎学力並びに幅広い教養を修得している。

- ・習得した生物や化学の知識を活かし、身の回りの現象を科学的に捉えて、論理的に考察することができる。

- ・観察や考察した内容について、適切に文章などで表現し、他者に伝えることができる。

- ・理科、特に生物や化学に関連する学問や実社会の諸問題に対し自ら主体的に考え、解決に向けて必要な学習に真摯に取り組むための素養を備えている。

- ・様々な考えを持つ多様な人々と協力し、理科、特に生物や化学に関連する分野で社会に貢献したいという強い意欲を有している。

##### （3）機械工学系

- ・高等学校までの教育の成果として、大学における教養教育及び機械工学系の専門教育を受けるために必要な数学、物理等の基本的知識・技能を習得している。

- ・世界的な実社会での課題や問題を理解し、その技術的背景等を論理的に考える素養を備え、その考えを自身でまとめて、他者に伝えることができる。

- ・実験実習においては協働して能動的に取り組み、様々な問題を発見、又、解決しようとする主体性を備えている。

##### （4）電気電子工学系

- ・高校卒業レベルの幅広い知識と、高校課程で物理・数学ⅡB・Ⅲを履修し、身に付けていること。

- ・電気電子工学領域の基礎知識群とそれを基礎とした研究活動から生じる学術成果を獲得し、その成果を社会に積極的に発信するとともに、社会にて生じている諸問題の迅速な解決に応用する技能を有すること。

- ・知識・技能を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて迅速に判断し解決する思考力を有すること。

- ・電気電子工学で修得する数学的思考力、物理的思考力、システム工学的思考力によって、課題に直面した際に、物事を論理的に分析し、迅速に問題解決に向けた判断を行う能力を有すること。

- ・電気電子工学領域の基礎知識群とそれを基礎とした研究活動から生じる学術成果を社会に積極的に発信並びに表現できること。

- ・電気電子工学の範囲のみならず、さまざまな内容に関心をもち、絶えず自ら自己研鑽することで、自らの周囲、社会への貢献及び国際的な観点からプロフェッショナルな仕事を意識する専門家としての姿勢を有すること。

- ・電気電子工学にとらわれない独創性や創造性に富む発想力を有すること。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化を理解するための幅広い教養を身に付け、時代の変化に合わせ、積極的に社会と融和し、発展・改善してゆく資質を有すること。</li> <li>(5) 環境科学系</li> <li>・大学における教養教育及び環境科学系の専門教育を受けるために必要な基礎的な知識を修得している。</li> <li>・人間社会と環境のかかわりに関心を持ち、そこにある問題等を考える素養を備え、自身の意見をまとめ、伝えることができる。</li> <li>・大学での学びに積極的に取り組み、環境分野において社会に貢献したいという強い意欲を有している。</li> </ul>
2. 人文学部	<p>(1) 国際コミュニケーション学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な教養を持っている人。英語又は中国語の学修、そして、異文化理解に対して強い意欲を持っている人。</li> <li>・グローバルに活躍する将来像を持った人。社会で使えるコミュニケーション能力を持っている人。</li> <li>・自分の考えや行動に責任を持ち、しっかり自己管理ができる人。留学やグループワークなどの体験学習を通して、社会人基礎力を伸ばせる人。</li> </ul> <p>(2) 人間社会学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校までの教育の成果として、大学における教養教育及び専門教育を受けるために必要な知識・技能を修得している。</li> <li>・物事について論理的に考えようとする強い意欲を有している。</li> <li>・社会調査の方法に関心を持ち、その方法を用いて社会的事象を分析したいという強い意欲を有している。</li> <li>・大学での学びを経て自己を確立し、人生について真摯に考えようとする強い意欲を有している。</li> <li>・現実の社会的な問題に関心を持ち、さまざまな問題の解決に向けた行動をとるための素養を備え、他者と協働して取り組みたいという強い意欲を有している。</li> <li>・論理的に考えようとする素養を備え、自分の考えをまとめる意欲を持ち、他者に伝えることができる。</li> <li>・多様な他者への関心を有している。</li> </ul> <p>(3) 日本文化学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の言語や文学、歴史、芸術についての基本的な知識を有している。</li> <li>・日本文化の事象を多面的かつ論理的に考察することができ、その考えを的確に表現し、伝えることができる。</li> <li>・国内外を問わず、文学や言語、芸術等の様々な社会的文化現象に興味があり、みずから文化に触れる能動性を有している。</li> <li>・積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。</li> </ul> <p>(4) 福祉実践学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校までの教育において幅広く学び、教養教育及び専門教育を受けるために必要な基本的な知識、生活者としての社会常識、情報検索などの社会生活に関する基礎的な技能・技術を備えている。</li> <li>・社会の課題や問題に対して、社会福祉の視点から論理的に考えるための素養を備え、それを口頭及び文章で表現することができる。</li> <li>・コミュニケーション能力を有し、他者と協力して社会に貢献したいという強い意欲や態度を持っている。</li> </ul>
3. 経済学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校の主要教科について基礎的な知識や技能を身に付けている。</li> <li>・知識や情報を用いて問題を解決するための方法を自ら考え、他者に伝えることができる素養を備えている。</li> <li>・主体的に勉学に励む意思を有している。</li> <li>・自己を成長させ他者と協力して社会に貢献するという意思を有している。</li> </ul>
4. 情報学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後の修学に必要な基礎学力としての高等学校までの諸科目の知識を有している人。</li> <li>・課題解決のために情報機器を適切に選択する素養を備える人、又それらを活用するための基本的な技術や技能を有している人。</li> <li>・与えられた課題や問題の解決に向けて「論理的思考」と「柔軟な判断」ができる人、又自身の思考や判断を適切に表現し伝えられる人。</li> <li>・複数の代替案から客観的に適切な選択肢を選ぶことができ、又その根拠を論理的に示すことができる人。</li> <li>・身近な課題を見付ける事ができ、その解決策を主体的に考える人。</li> <li>・情報学並びに周辺諸分野への深い関心を持ち、社会に積極的に貢献しようとする人。</li> </ul>
5. 教育学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動をするうえで必要な技能についての基礎的な資質・能力を有している人。</li> <li>・学校教育又は保育・幼児教育の主体的な学習を経て自己を確立し、多様な人々と適切なコミュニケーションをとることができる人。</li> <li>・教育や関連する領域において適切に思考・判断する基礎的な資質・能力を有している人。</li> <li>・保育や教育に関心を持ち、真摯に学習する態度とその分野の仕事をしたいたい意欲を有している人。</li> <li>・学校教育又は保育・幼児教育を学習する基礎的な学力や理解能力を有している人。</li> </ul>
6. 経営学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校までの教育の成果として、大学における教養教育及び経営学部経営学科における経営に関する専門教育を受けるために必要な基本的な知識・技能を修得している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩地域及び他地域を含めた実社会の課題や問題に対して、幅広く論理的に考える素養を備え、その考えを自身でまとめ、他者に伝えることができる。</li> <li>・経営に関する実践的な学びに能動的に取り組み、様々な課題や問題に対して、自ら主体的に考え、解決に向けた行動を取るための素養を備えている。</li> <li>・大学での学びを経て自己を確立し、他者と協力して社会に貢献したいと強い意欲を有していて、かつ、以下のような経営学部の5つのコース・カリキュラムに対応した興味・関心及び意欲を有している。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の活性化や住民の生活満足の向上に意欲のある人。</li> <li>2. 観光をはじめ、ホスピタリティ、ブライダルビジネスなどサービス業に興味、関心のある人。</li> <li>3. 起業や新規事業の立ち上げ、企業の事業承継について必要な知識を学ぶ意欲のある人。</li> <li>4. 会計や財務の知識を身につけて金融機関や会計のプロフェッショナルを目指す意欲のある人。</li> <li>5. 経営学の学習と実践を通じて実務家としての基本能力を高め、民間企業及び官公庁の即戦力として活躍できる人材を目指す意欲のある人。</li> </ol>
7. デザイン学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学における教養教育及びデザイン学科の企画や表現に関する専門教育を受けるために必要な基礎学力と表現技能を有している。</li> <li>・ものごとを筋道立てて考えながら判断し、自分の考えやアイデアを企画提案としてまとめ、他者に分かりやすく魅力的に表現する素養を備えている。</li> <li>・課題や問題に対して自ら積極的に取り組み、解決に向けて粘り強く努力する素養を備えていると共に、実践的な学びを通じて自己を確立し、他者と協力しながらデザインの力を社会に活かしたいという意欲を有している。</li> </ul>
8. 心理学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語、数学、英語の基礎学力を備えている人。</li> <li>・「私」や自己の内面としての「心」にたげてなく、人間同士や人間と環境との関わりとしての「心」にも眼を向けられる、幅広い視野を持つ人。</li> <li>・「文系」や「理系」の枠にとらわれず、実験、検査、調査、統計処理、外国語文献読解など、人間を理解するための様々なスキルの修得に意欲的に取り組める人。</li> <li>・心理学の専門科目の授業に、常に真剣に取り組める人。</li> <li>・心理学の特定の一領域にたげてなく、多様な領域や考え方に興味を持って幅広く学びたいと考える人。</li> <li>・友人や教員と協調して、自ら目標を定め計画的に学びを深めて行ける人。</li> </ul>
9. 建築学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築学を学ぶ上で必要となる基礎学力を有している人。</li> <li>・世の中の様々な環境の変化に関心を持ち、学んだ知識と技能を用いて社会の課題や問題を解決しようとする意志を有している人。</li> <li>・社会の課題や問題に対して、正しく、的確な情報を収集し、論理的に考え、自ら判断することができる人。</li> <li>・自らの考えを自らの言葉でまとめ、他者に対して、正しく、的確に表現することができる人。</li> <li>・積極的に他者と関わり、自分と異なる考えや価値観を尊重しながら、他者と協調的な関係を築こうとする意志を有している人。</li> </ul>